

2024夏期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

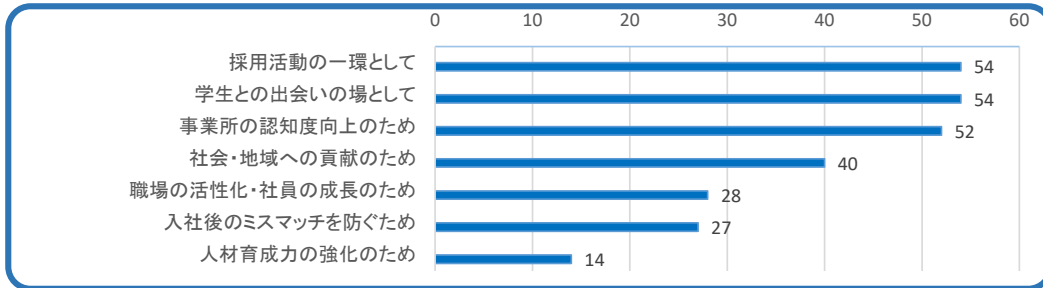
2024夏期しまね短期仕事体験受入事業所 実施報告アンケート

受入企業数 : 74社

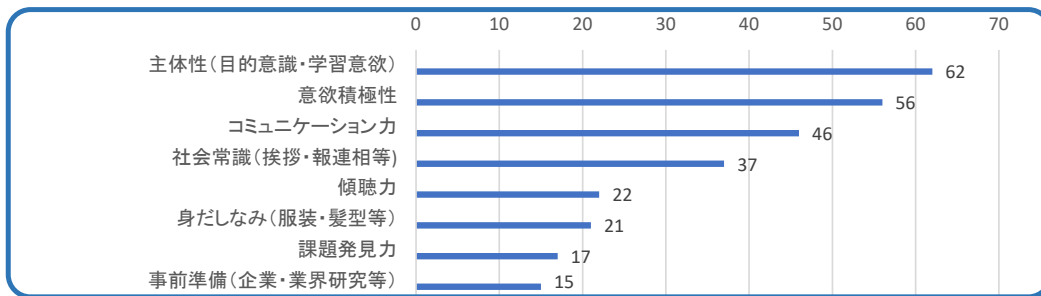
回答データ: 70件

回答率: 94.5%

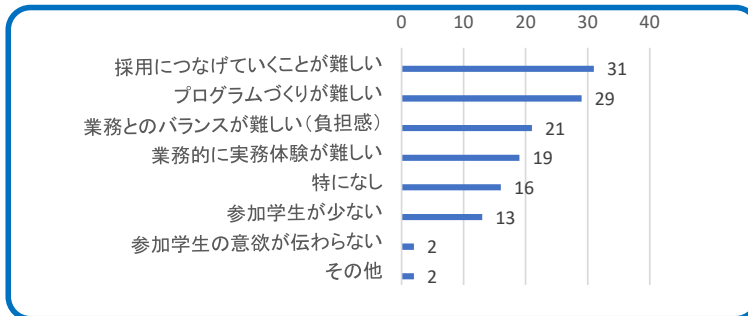
問1 短期仕事体験を受け入れた主な目的として該当するものを選択してください。(複数回答可)



問2 短期仕事体験参加学生に求めていたこと(複数回答可)



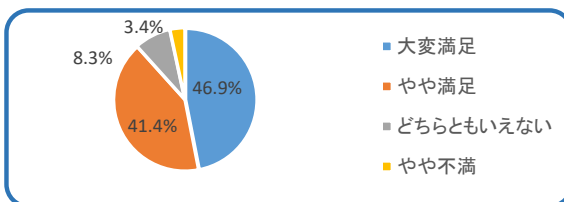
問3 短期仕事体験で学生を受入れるうえでの問題点・課題(複数回答可)



その他の内容

- ・交通の利便性が悪いため時間の設定が難しい
- ・交通費の助成がないため、遠方の学校の学生が参加しにくい

問4 全体を通じた満足度



2024夏期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

記述1 短期仕事体験で学生を受入れるうえでの問題点・課題(抜粋)

- ▶ 場所が不便だからだと思うが、もっと多くの学生に参加してみたい。
- ▶ 初めての参加で打ち出しが悪かったため、参加学生が少なく、グループワークなどを主体としたプログラムの構成に関して変更を余儀なくされた。
- ▶ 外勤の職種では、社内で完結する業務が事務作業しかないため外勤社員と同行のレベルしかできず、実務体験ができない。
- ▶ 学生の反応や考えに合わせてプログラムを微調整することになり、もともと予定しているプログラムから毎回変更になる。
- ▶ 研修期間中にイベントがないと、研修内容が単調になってしまう。

【採用につながるか】

- ▶ 昨年の参加者が応募につながらなかったことから、仕事体験後の対応が必要と考えています。
- ▶ 参加してくださった学生さんが採用に繋がるように、工夫をしているつもりですが、なかなか採用に結び付きません。
- ▶ 専門性が高い分野なので体験してもらうのが非常に難しかった。
- ▶ 就職活動の前段階として活用される学生さんが多く、就職先候補として企業選択されていない方に対して、どれくらい自社アピールをすれば良いかの見極めが難しいと感じています。
- ▶ 一昨年は4人、昨年は7人が参加されましたが、実際の採用試験への応募は0人

【プログラムづくりが難しい】

- ▶ プログラムの体験内容は難しすぎると入社意欲や関心の面でハードルを上げてしまう反面、簡単すぎると入社後のミスマッチが起きかねないので、ほどよいバランスを取る必要があります。
- ▶ 店舗実習で体験してもらう業務は、基本的な事ばかりで楽しさが伝えられないのが残念です。
- ▶ 実際体験できる業務が少ない。
- ▶ 営業職の体験内容が限られているためプログラム作りが難しい。特に営業先の下承がないと同行もできず、社内で作業がない時期などでは座学メインになってしまう。

【業務とのバランスが難しい(負担感)】

- ▶ 大人数・長期の体験をサポートすると業務に支障が出ることもある。
- ▶ 充実した内容にしてもらおうとするとどうしても学生さんに付く時間が増え、通常業務が滞ってしまいがちになる。
- ▶ 夏期インターンシップの受入と短期仕事体験受入の日程が連続し、業務とのバランス調整が難しく感じた。
- ▶ 日々の業務と学生受け入れのためのプログラムづくりの負担、バランスが難しい。
- ▶ 仕事体験にかかわる社員の確保が難しい。基本実務優先であるため、人員の少ない部署についてはプログラムを設定できない。
- ▶ 実際の業務を体験して貰いたいが、個人情報の観点などから体験が組めず、施設見学のような体験内容が偏ってしまうことに苦慮している。
- ▶ 初めて3日間の仕事体験を実施したため、プログラム作りは難しく、また他業務と並行しての準備が大変であると感じました。

2024夏期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

記述2 より良い短期仕事体験となるように、自社で工夫したことはありますか？

- ▶ 実験や現地での体験などを多く組み込み、座学ではわからない楽しさを感じてもらおうと努力した。
- ▶ いわゆる「体験のために用意された課題」ではなく、弊社の業務内で行っている内容をやらせてもらうことで現場のリアルさを追求しています。
- ▶ 会社説明の時間をしっかり取って、どの企業を選ぶにしても福利厚生は企業選択のポイントとなることをお話した。
- ▶ IT業界だけでなく、一般的な社会人スキルも身につけることができるような内容にしている。
(報告・連絡・相談、スケジュール管理、プレゼンテーションなど)
- ▶ 仕事の途中でも、「質問」を受ける。受け身になってしまわないよう、常に自主性をもつことを確かめるためにも、「質問ある？」と投げかけることは工夫した点である。
- ▶ 実務に近いチームでの開発経験や他の学生、社員との交流など全体を通して開発だけではないアクティビティも持たせつつスキルアップしていただいた。

【事前準備・ヒアリング】

- ▶ 事前にオンラインで打合せをし、体験したいこと、知りたいことを聞いたうえで、プログラムを決めた。
- ▶ 顧客に商品提案を行うにあたり、事前に商品を送り、試食してきてもらってプレゼンを行った。
- ▶ 体験初日に、スケジュールを明らかにした上で学生さんと今回の目的の擦り合わせを行いました。
- ▶ 事前に各部署の仕事内容や企画する業務体験の資料を送付することで、ある程度のイメージを持って参加いただけるようにした。
- ▶ 可能な限り学生が興味をもった部署の業務体験ができるよう希望部署のアンケートを実施し、グループで体験・発表を行うプログラムとした。
- ▶ 事前の面談を実施することで、学生が求めている内容(現場が知りたい、相談業務が知りたい等)を把握し、体験内容を計画できました。
- ▶ 仕事体験で当社を選んだ理由をお伺いして、“やってみる”より“知りたい”という気持ちが強いように感じたので、たくさんお話をするようにしました。
- ▶ 学生の希望部署にあったプログラムの作成に努めました。
- ▶ 初日のオリエンテーション時に要望や、短期仕事体験の着地点について要望を聞いた。

2024夏期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

【交流会】

- ▶ 事前に提出していただいたコミュニケーションシートの質問事項を職員に共有し、3日間の昼食は3名ずつバックグラウンド、キャリアが異なるメンバーと対話する機会を設けました。
- ▶ 業務を体験する部署の社員と一緒に昼食を食べるようにし、学生がリラックスして参加できるよう心掛けました。
- ▶ 1つの部署だけでなく、様々な部署の体験時間を設けた。管理職から若手まで様々な層の社員との交流を深めた。
- ▶ 最終日に社員との交流会を行い、就活の悩みや仕事をする事への考え、プライベートな話などをしてもらっています。
- ▶ 1つの部署のみの体験だけでなく、新卒職員との交流会などを設定した。
- ▶ スタッフとのコミュニケーションに力を入れてます。現場同行やインタビューなど、できるだけスタッフ全員と話す機会を作り相互にとって刺激になることを期待しています。
- ▶ 若手社員との座談会を設けたり、昼食を一緒にしたりコミュニケーションの場を増やした。
- ▶ また、自社の若いスタッフからベテランまで様々なスタッフの「講義」や「人生体験談など」の時間を用意し、仕事体験後の人生にも役にたつ時間を設けています。
- ▶ 弊社のインターンシップから入社した社員との交流の場を設けた。

【課題解決・振り返り】

- ▶ 店舗実習の最初と最後に採用課の社員が必ず関わるようにしました。(小売業の説明とフィードバック)
- ▶ 事前にどんなことがやりたいか聞き、希望する内容プラス成長できるような新しいことへチャレンジする時間を作りました。
- ▶ 事前、事後アンケートを実施。
- ▶ 初日に、「何を目的に、どう行動するか」を学生さんとしっかり話し、深めることを意識しました。日々、可能な限り職員が振り返りを丁寧に行うよう心掛けました。

記述3 全体を通した満足度の理由(抜粋)

【大変満足】

- ▶ 事前学習をもとにカスタマー目線で事業に対するフィードバックをもらうことができ、私たちにとっても学びが多くありました。
- ▶ 非常に優秀で積極性のある学生さんでした。
▶ こちらとしても受け入れた甲斐のある仕事体験となりました。
とにかく、来てくださった学生さんが積極的に取り組んでおられて、職員の気持ちの向上にもつながっていたので大変満足にしました。学生と話す職員はとても生き生きしていました。そして、学生の考えていることも聞くことが出来てよかったです。ある学生さんからは、お礼のメールもいただきました。最高にうれしかったです。
- ▶ 弊社内でスタッフ同士のコミュニケーション量が増え、スタッフの成長につながったことや、学生の元気ややる気を感じられたことです。教えることで学べることもたくさんあるということが身に染みてわかりました。
- ▶ 学生はマナーなどもしっかり理解しており、自主的に実習に取り組んでくれたため。
- ▶ 学生が積極的かつ学習意欲が高かったため。
- ▶ 今の時代性もあるが、個性がそれぞれあって、頼もしく感じた。
▶ 初めて、演劇や劇場に興味をもっている学生が体験に来てくれたので、うれしくもあり、今後も応援を頼むことにした。
学生のみなさんの頑張りに胸を打たれました。
▶ (特に伴走したスタッフは、おとなしめの学生が振り返りの際に感動の涙を流しながら満足の声を聞かせてくれたことにもらい泣きして学生の3倍涙を流していました)

2024夏期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

- ▶ 学生さんから大変満足のいく5日間だったとご連絡をいただき、双方にとってよい仕事体験となったから。
- ▶ 今年度採用者や、来年度採用内定者にインターン(仕事体験)経験者が複数名おり、一定程度の成果があったと感じていることから。
- ▶ 意欲やスキルの高い学生が多く、好印象でした。
- ▶ 参加した学生の方から、「様々な業務を知り、グループワークを体験出来るととても良かった」という感想をいただけたため。
- ▶ 参加学生さんとスタッフがお互い積極的に話かけるなどして関係が深まり、終始和やかな雰囲気で行いました。本音をもらす場面も多かったのではと思います。これからも大事にしていきたい点です。
- ▶ 農業を未経験の学生もいたが、暑い中作業に熱心に取り組んでいただけた。仕事としての農業をテーマにお話しし、農業に対する見方が変わったとの意見もあり、意義のある体験になったのではと感じた。

【やや満足】

- ▶ パッケージ型のおかげで学生との出会いがあったが、本来は複数日で実施する仕事体験にも参加してもらいたい。
- ▶ 参加学生は1名でしたが来年に向けての良い学びになったため。
- ▶ 交流会の時間を30分取っていましたが、もう少し長く取るべきでした。
- ▶ 学生は、もう少し詳しく話が聞きたかったように感じました。
- ▶ 積極的な感じがしなかった。
- ▶ 参加していただいた学生は、しっかりとコミュニケーションを取ることができる学生ばかりでした。こちらのプログラム設定については、例えば原稿執筆や販売戦略立案の企画などを体験する時間がやや短かったという反省があり、学生にとってはじっくりと考える余裕がなかったのではないかと自問しています。

【どちらともいえない】

- ▶ 地元学生ではなかったため。
- ▶ 業務との両立が難しい。